



SmartDevicesPlus

インストールガイド

2014 年 4 月



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2014 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに	4
システム要件	5
アプリケーションのインストール	6
Dvelop.ProtectionServer のインストール	8
ライセンスの請求	11
新規ライセンス請求	11
継続ライセンス請求	15
アプリケーションのアップグレード	17
NUCLiOS のインストール	20
ライセンスの取得	25
ライセンスの移行	28
2台のコンピューター間でライセンスを移行する	28
ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する	34
ライセンスのアンインストール	39
ライセンスの再発行について	40
エビデンスファイルを提出できる場合	40
エビデンスファイルを提出できない場合	42
アプリケーションのアンインストール	43
緊急ライセンスの発行依頼	45
緊急ライセンスを利用するには	45
緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する	46
トランスファーファイルを取り込む	47



はじめに

本書では、SmarDevicesPlus のインストール、ライセンスの請求および登録、ライセンス移行手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行の手順についても説明しています。

ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

SmartDevicesPlus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。



システム要件

SmartDevicesPlus を実行するには、次のソフトウェアが必要です。

- GeneXus X Evolution U3 以降
(iOS7 対応のアプリケーションを生成する場合は U4 以降 をお使いください)
- iOS 4.0 以降のデバイス、Xcode version 4.2 以降
- Infragistics コントロールをインストールするための Mac OS 搭載の仮想マシンまたは Mac コンピューター
- Android 2.1 以降のデバイス

SmartDevices ジェネレーターのシステム要件については「[GeneXus X Evolution 2 ヘルプ](#)」を参照してください。

参考： GeneXus のシステム要件については、GeneXus に付属のインストールガイドを参照してください。

アプリケーションのインストール

このセクションでは、SmartDevicesPlus のインストール、ライセンスキーファイルの生成、およびライセンスの請求手順について説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから製品版の SmartDevicesPlus のアプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/sdp?ja>
2. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.zip」を解凍します。
3. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X にインストールする場合にのみ、選択してください。なお、GeneXus Server X にインストールする場合、ライセンスが不要なため、サイトコードの生成とライセンスファイルの取得プロセスはありません。

5. 「参照」をクリックして、次のようにインストールの場所を指定します：

「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvn_JP」

6. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。



7. 「完了」をクリックします。これでインストールは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。

ライセンスの請求については、後述の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。

Dvelop.ProtectionServer のインストール

Protection Server をお使いの場合、次の手順に従って Protection Server がインストールされているコンピューターまたはサーバーに「Dvelop.ProtectionServer」をインストールする必要があります。

1. Protection Server がインストールされているマシンに「Dvelop.ProtectionServer_1.1」をコピーします。
2. 「Dvelop.ProtectionServer_1.1」をダブルクリックします。次のような画面が表示されます。

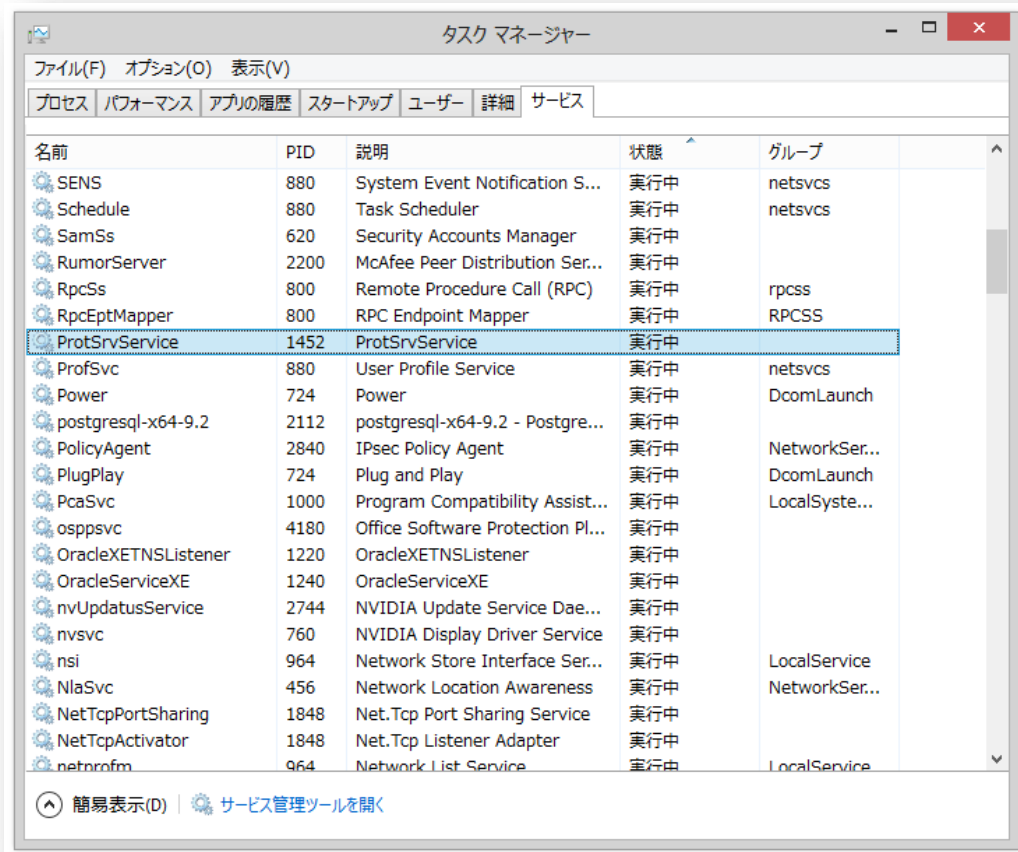


3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。

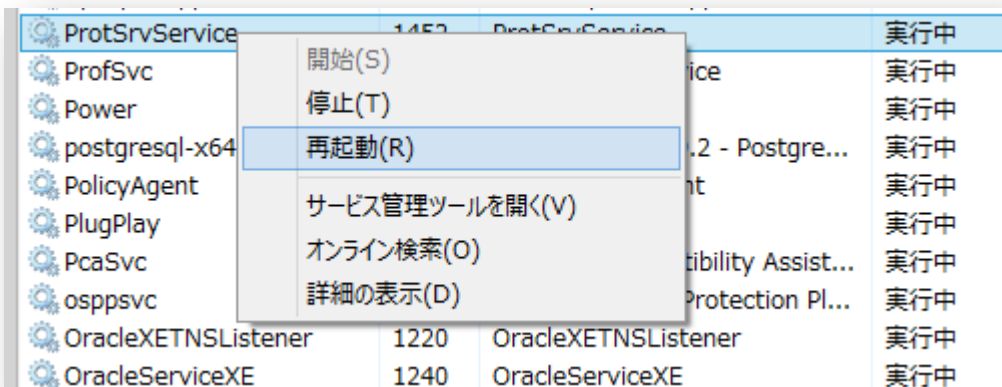


4. 「完了」をクリックすると、GeneXus Protection Server が起動します。
5. この段階では、「Product」に WorkWithPlus がリストされていないため、GeneXus Protection Server を終了します。

「タスクマネージャー」を起動し、「サービス」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



- 「ProtSrvService」を右クリックし、コンテキストメニューから「再起動」をクリックします。



- GeneXus Protection Server の「Product」に「SmarDeivesPlus」がリストされていることを確認します。

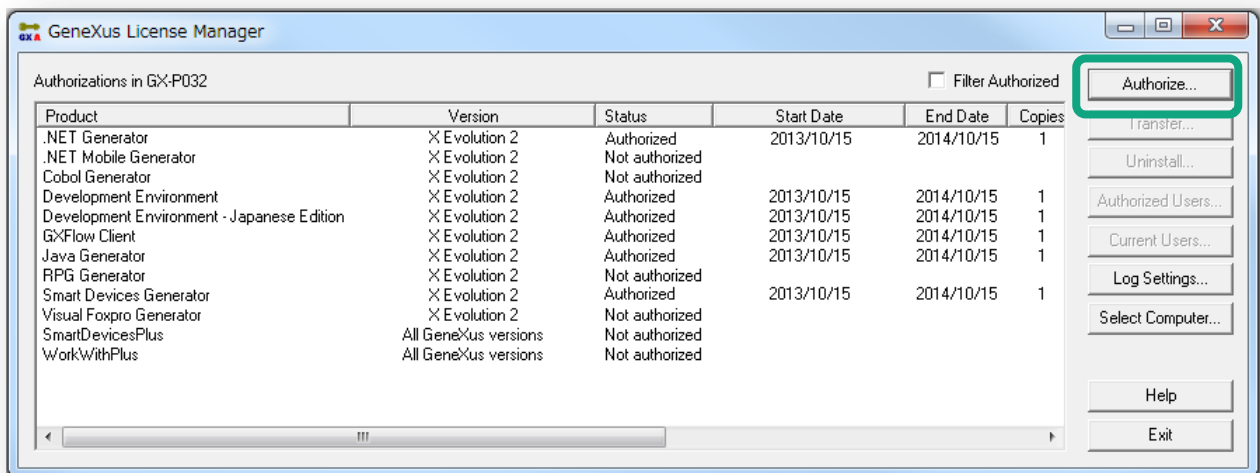
ライセンスの請求

このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合のそれぞれの手順について説明しています。

新規ライセンス請求

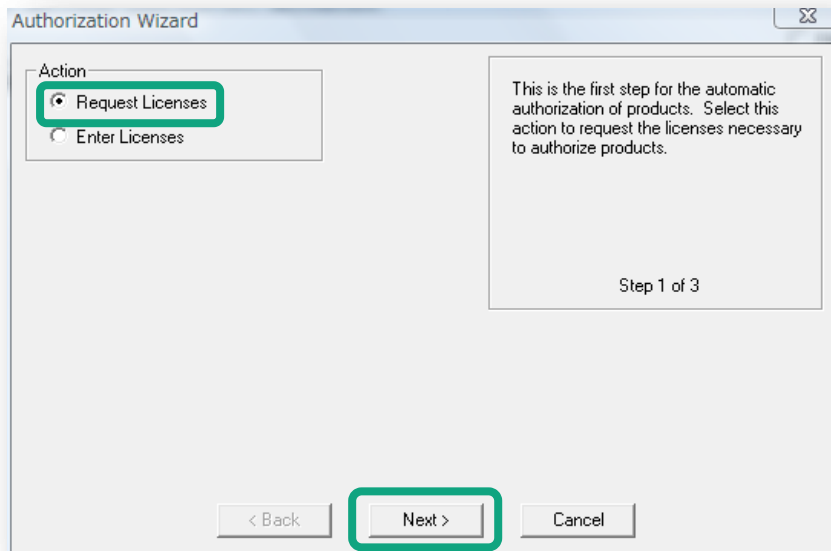
1. 「アプリケーションのインストール」の手順 7 に従って「GeneXus License Manager」を起動します。
また、GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動することもできます (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

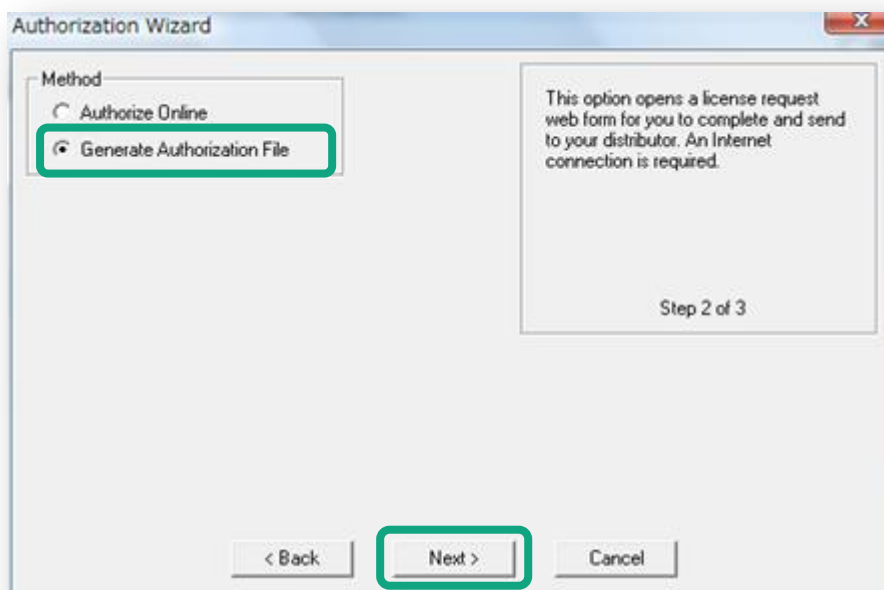
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



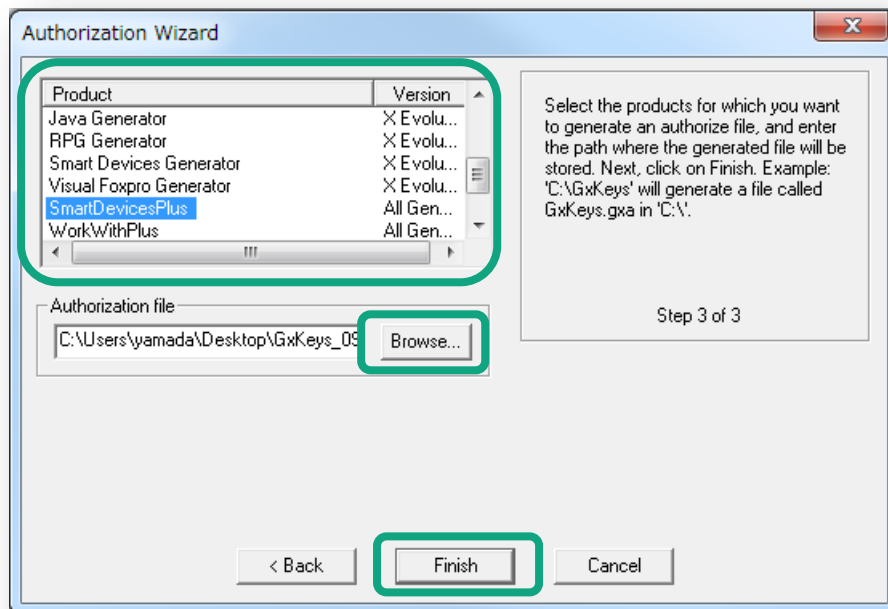
3. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。

4. 「**Generate Authorization File**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

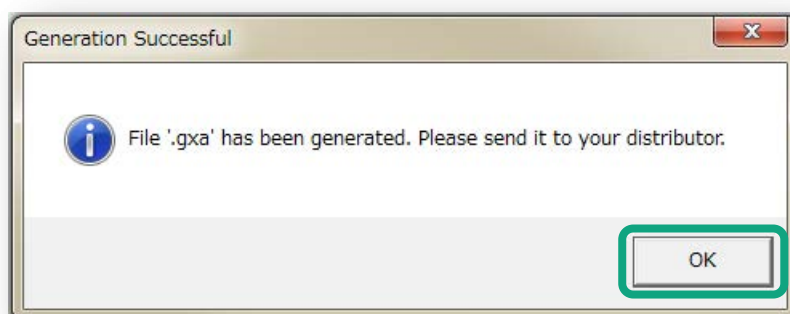


ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「Product」リストから「SmarDevicesPlus」を選択してから、「Finish」ボタンをクリックします。
6. 「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「Browse」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「OK」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「.gxa」ファイルが保存されます。





8. 手順7で生成された .gxa ファイルの名称を「SDP_XXXX.gxa」のように変更します。「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。
9. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。

重要：販売店から SmartDevicesPlus を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルを販売店宛に送信し、販売店からライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

これで SmartDevicesPlus のライセンス請求は完了です。ライセンスキー ファイルを登録する方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

重要：ライセンスの有効日数が0になると、ライセンスが失効されるため、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は5営業日前までにお願い致します。

有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスしライセンスを発行致します。

例）＜2014年10月15日まで有効のライセンス＞

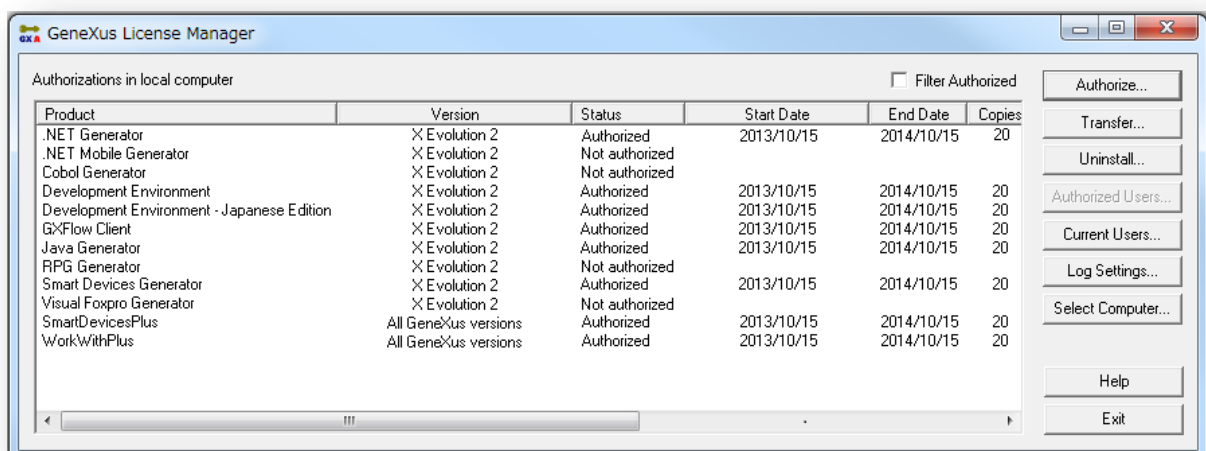
2014年10月7日継続請求 → 2015年10月15日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行

1年間分+早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. [「新規ライセンス請求」](#)のセクションの手順 2～8 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
 - 注文書に記載されているライセンス番号

以上でオフラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている SmartDevicesPlus を最新版にアップグレードする方法について説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから最新の製品版の SmartDevicesPlus アプリケーションをダウンロードします（以下のページの最下部にある Evolution 2 用のダウンロードリンクをクリックしてください）。

<http://www.genexus.com/products-japan/sdp?ja>

2. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.zip」を解凍します。
3. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「**GeneXus Server のインストール**」チェックボックスは GeneXus Server X にインストールする場合にのみ、選択してください。なお、GeneXus Server X にインストールする場合、ライセンスが不要なため、サイトコードの生成とライセンスファイルの取得プロセスはありません。

5. 「参照」をクリックして、次のようにアップグレードするアプリケーションの場所を指定します：
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvn_JP」
6. 「次へ」をクリックします。



7. SmartDevicesPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。1 番目の SmartDevicesPlus をアップグレードするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



これでアップグレードは完了です。

参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「SD+」>「ヘルプ」>「SD+について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

NUCLiOS のインストール

SmartDevicesPlus には、Android および iOS プラットフォーム用のさまざまなグラフを作成するための Infragistics Library がバンドルされています。Android 用のユーザーコントロールは、SmartDevicesPlus のインストーラによってインストールされますが、iOS 用のユーザーコントロールである「NUCLiOS」は、お使いの Mac コンピューターに別途インストールする必要があります。

このセクションでは、「NUCLiOS」のインストールとライセンスの登録について説明します。

重要 : GeneXus License Manager で「.gxa」ファイルを生成し、ライセンス請求メールを送信すると、SmartDevicesPlus のライセンスを格納した「.gxa」ファイルと一緒に「NUCLiOS」のライセンスコードが届きます（ライセンス請求の詳細については前述の「ライセンスの請求」を参照してください）。「NUCLiOS」のインストールの際には、ライセンスコードが必要となるため、ライセンスコードがお手元に届いてからインストールを行うようにしてください。

1. 「Infragistics_NucliOS_2013_2.zip」を解凍し、「Infragistics_NucliOS_2013_2.pkg」を Mac コンピューターにコピーします。
2. 「Infragistics_NucliOS_2013_2.pkg」をダブルクリックで開きます。
3. 次のようなインストールが可能かどうかをチェックする画面が表示されたら、「**続ける**」をクリックします。



4. インストールが可能な場合、「はじめに」の情報が表示されます。「続ける」をクリックします。



5. 「大切な情報」が表示されます。内容を一読し、必要に応じて「プリント」または「保存」をクリックします。インストールを続ける場合は「続ける」をクリックします。



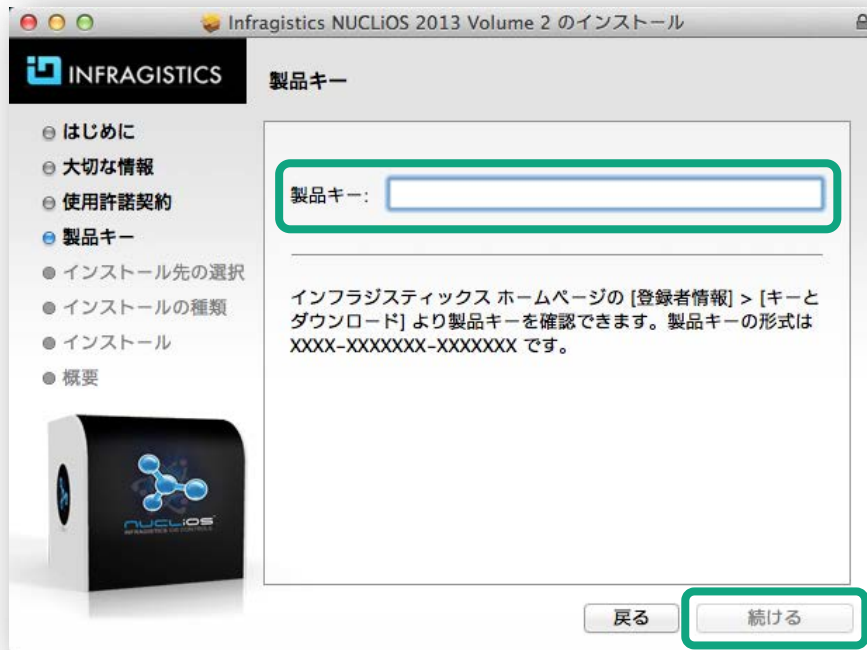
6. 「使用許諾契約」が表示されます。内容を一読し、必要に応じて「プリント」または「保存」をクリックします。



7. 「続ける」をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約の条件に同意するかどうかを確認するメッセージが表示されます。同意してインストールを続ける場合は「同意する」をクリックします。



8. 「製品キー」の入力フィールドが表示されます。このフィールドに販売店または NUCliOS のライセンスキーを入力してから「続ける」をクリックします。



注意：このとき 4 桁、7 桁、7 桁の各数字間には「-」（ハイフン）を含める必要があります。

9. 次のようにインストール先のディスク情報が表示されたら、「インストール」をクリックします。



参考：複数のハードディスクが存在する場合、インストール先の指定を求めるメッセージが表示されます。

10. インストールの認証ダイアログが表示されます。「名前」と「パスワード」フィールドに Mac OS の管理者アカウントとパスワードを入力してから、「ソフトウェアのインストール」をクリックします。



11. インストールの状況を示す進捗バーが表示されます。インストールの完了を知らせるメッセージが表示されたら「閉じる」をクリックします。



これで NUCliOS のインストールは完了です。

ライセンスの取得

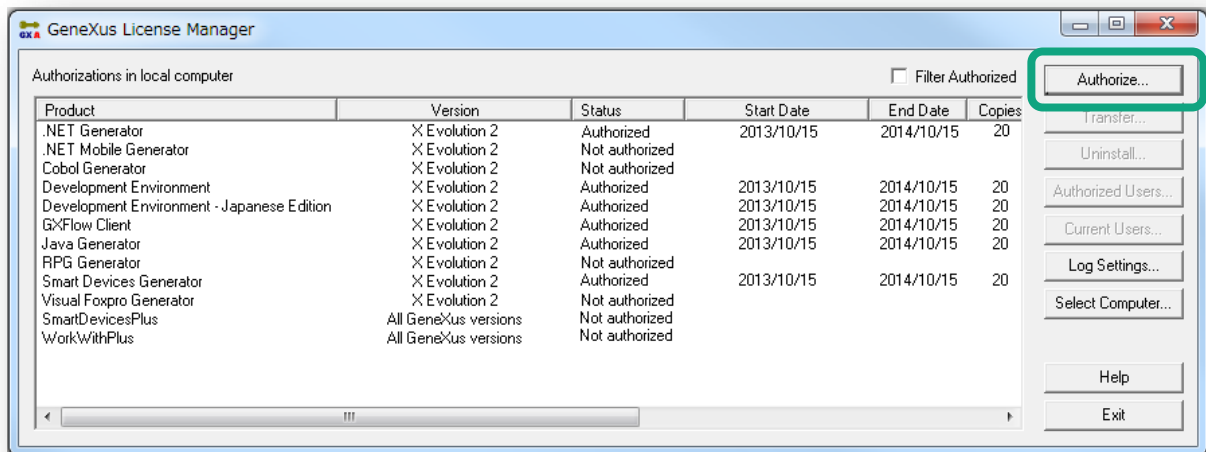
発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピュータにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

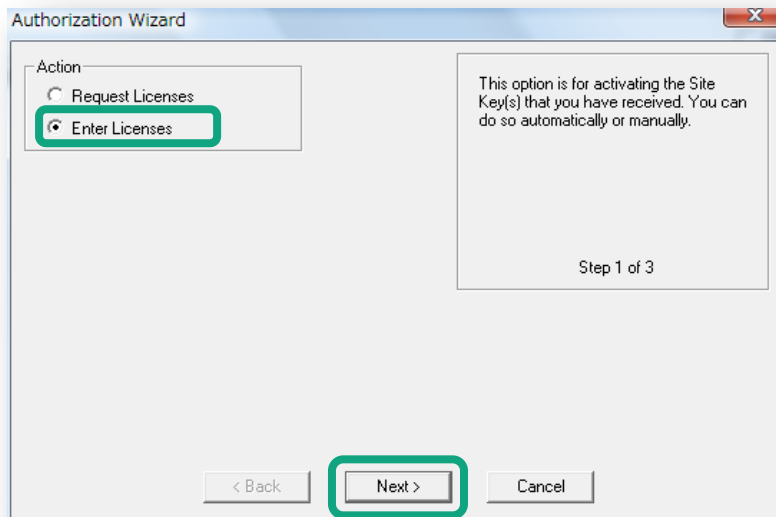
1. メールに添付されたライセンスファイル（.gxa ファイル）を、ライセンスを請求したコンピュータにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。

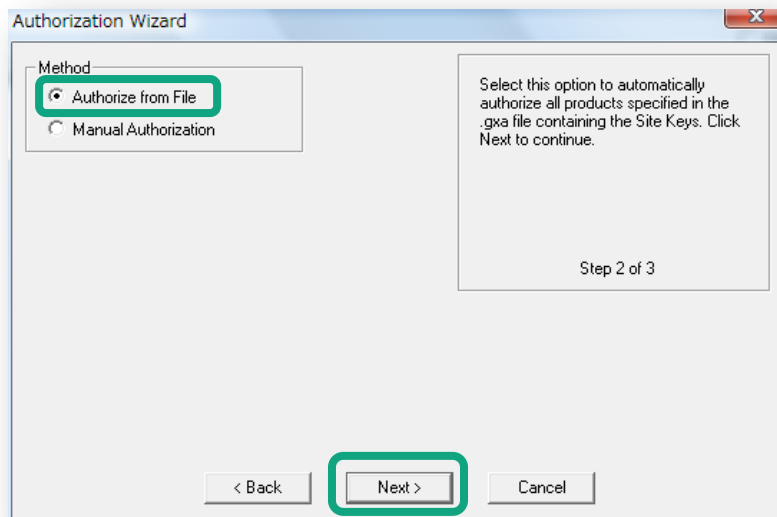


3. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

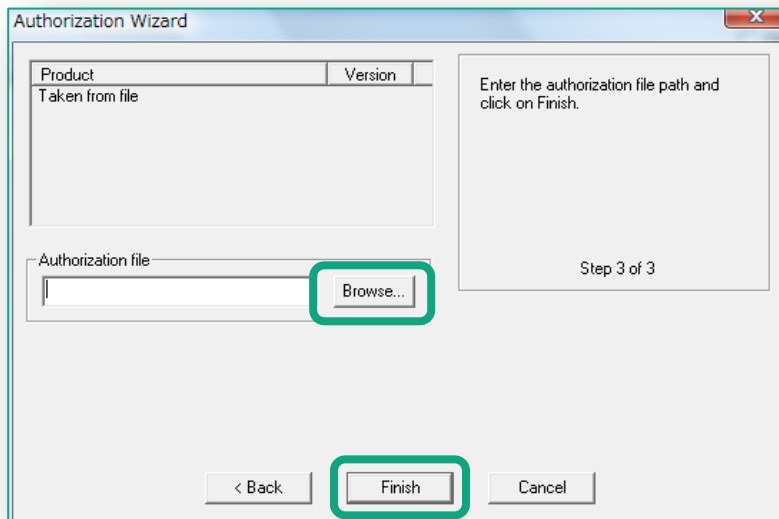
次のような取り込み画面が表示されます。



4. 「**Enter Licenses**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。
5. 「**Authorize From File**」を選択して「**Next**」ボタンをクリックします。



次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、SmartDevicesPlus を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピューターにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピューターにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）と「GeneXus License Manager」の「Start Date」（開始日）が同じである必要があります。また、この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

ライセンスの移行には次の 2 通りの方法があります：

- **Register Transfer:** このオプションは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する場合に使用します。2 台のサーバー間、2 台のコンピューター間、サーバーとクライアントコンピューター間、クライアントコンピューターとサーバー間で実行可能です。
- **Direct Transfer:** このオプションでは、ライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）から、同じネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）または Protection Server（ターゲットサーバー）に 1 つ以上のライセンスを移行することができます。GeneXus Protection Server がターゲットサーバーにインストールされている必要があります。

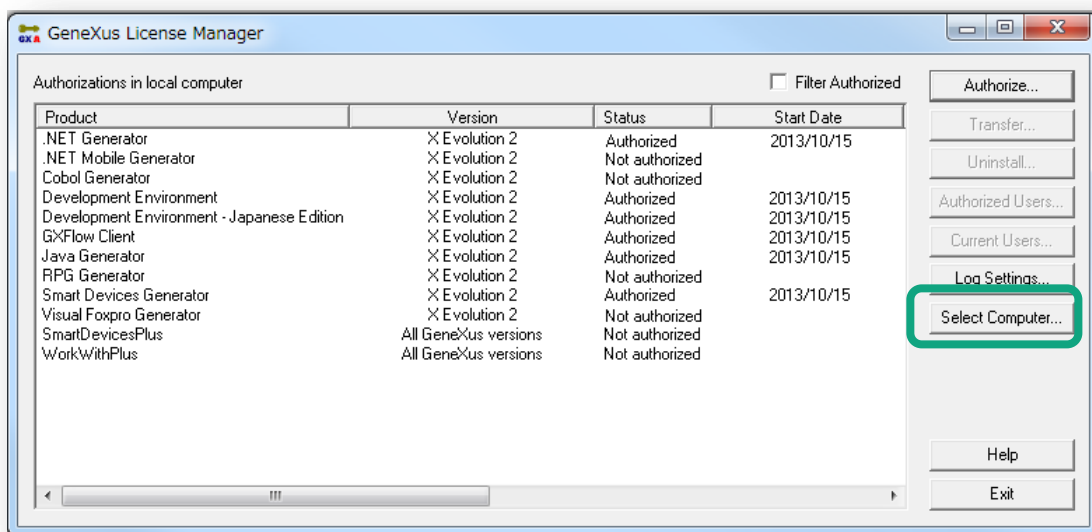
2 台のコンピューター間でライセンスを移行する

ここでは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピューター（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピューター（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

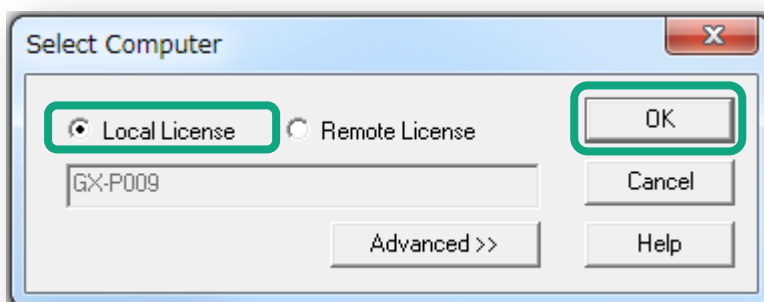
1. ターゲットマシン（ライセンスの移行先）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



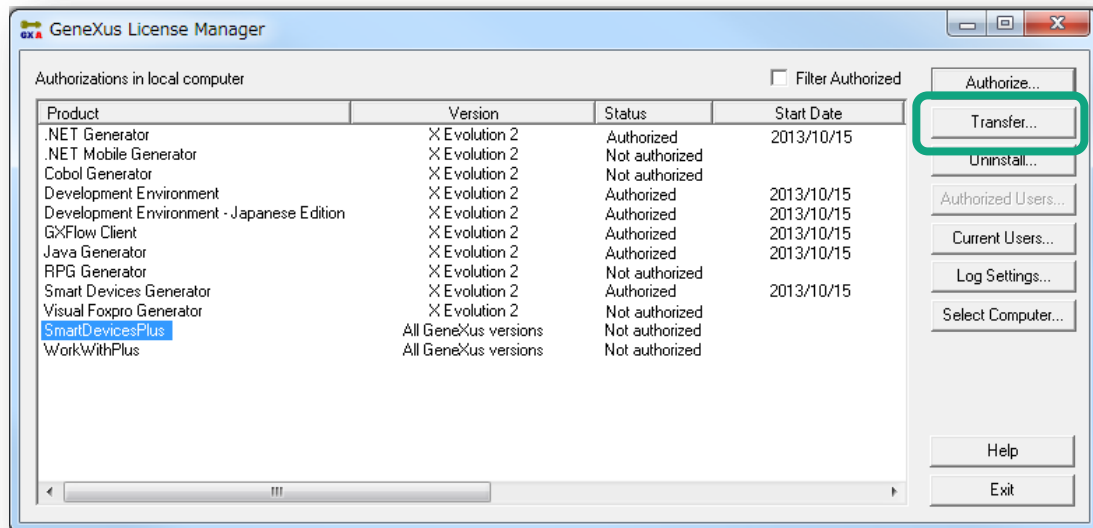
この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。

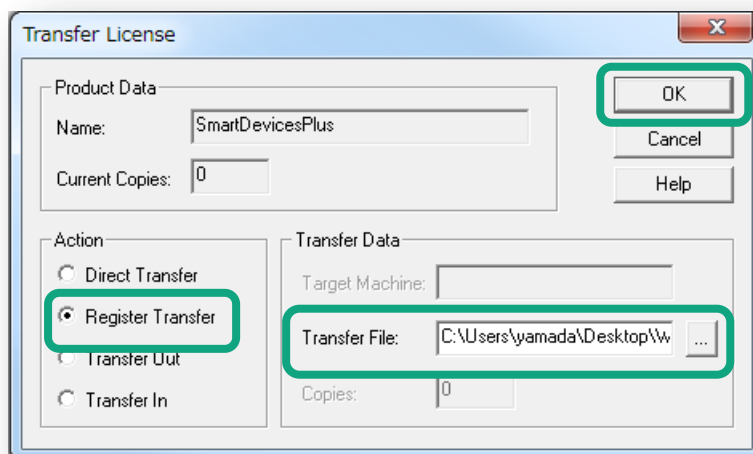


3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「GeneXus License Manager」の起動画面に戻ります。



4. 「Product」から「SmartDevicesPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
5. 「Transfer License」画面が表示されたら、「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。



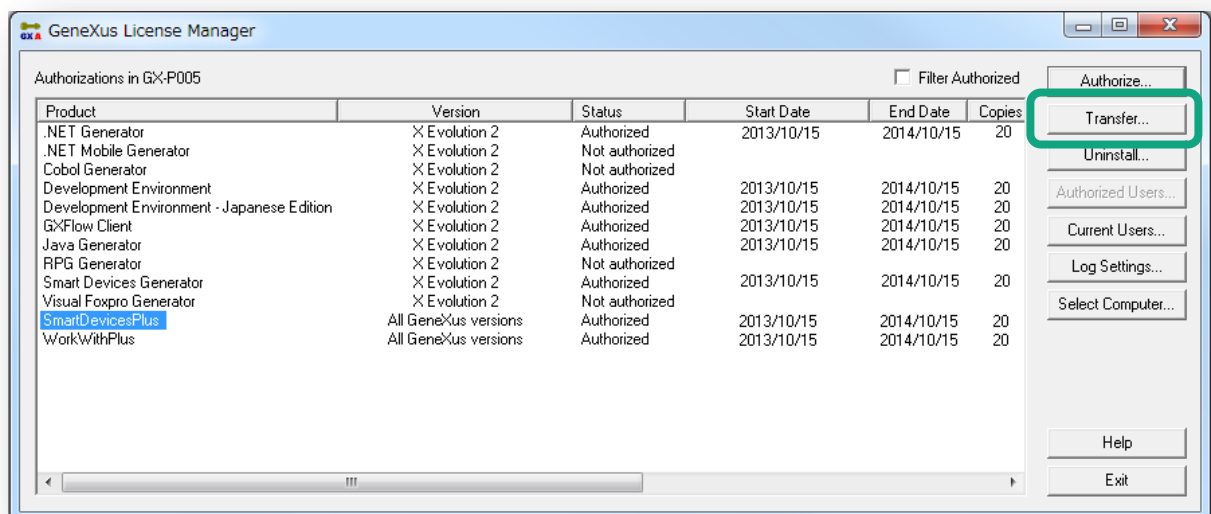
参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

6. 「OK」をクリックします。ほかにも移行したいライセンスがある場合は手順 4～6 を繰り返します。

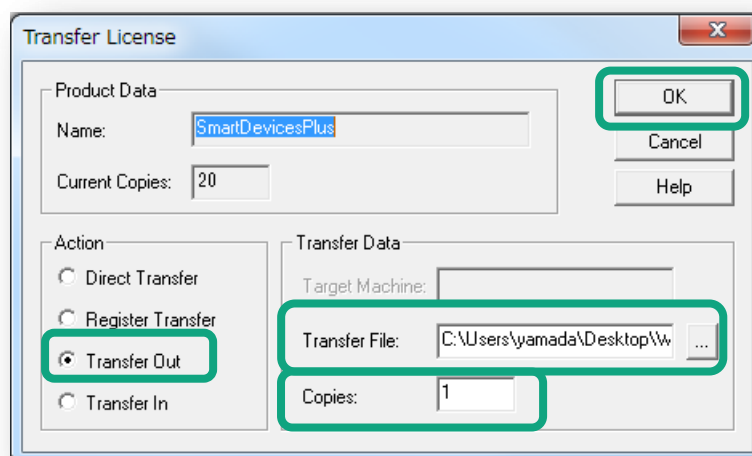
7. 「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピューター）にコピーします。

この後、ソースマシン（ライセンスの移行元）で操作を行います。

8. ソースマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。

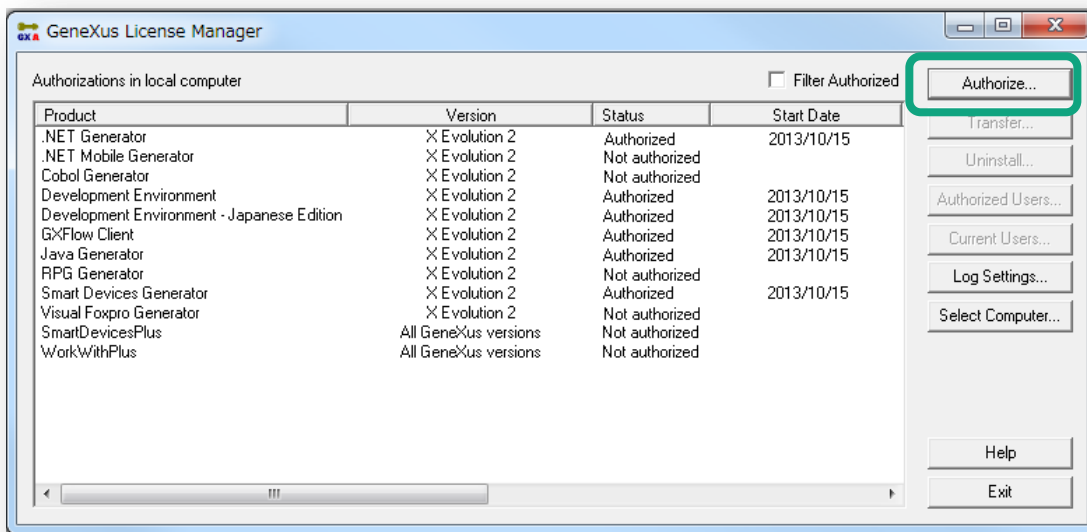


9. 「Product」から「SmartDevicesPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
10. 「Action」セクションの「Transfer Out」を選択し、「Copies」フィールドに必要な数を入力してから、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。

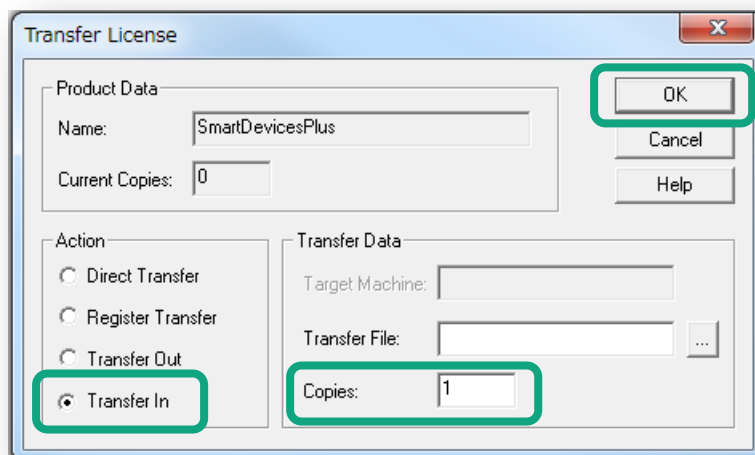


11. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 9～11 を繰り返します。

12. ライセンスデータを格納した「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をターゲットマシン（ライセンスの移行先）のにコピーします。
この後ターゲットマシン（ライセンスの移行先）に戻って操作を行います。
13. ターゲットマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. 「Product」から「SmartDevicesPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
15. 「Action」セクションの「Transfer In」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



16. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。



これでライセンスの移行は完了です。

重要： ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとする、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Trasfer Out」処理が実行された場合、もう一度2度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する

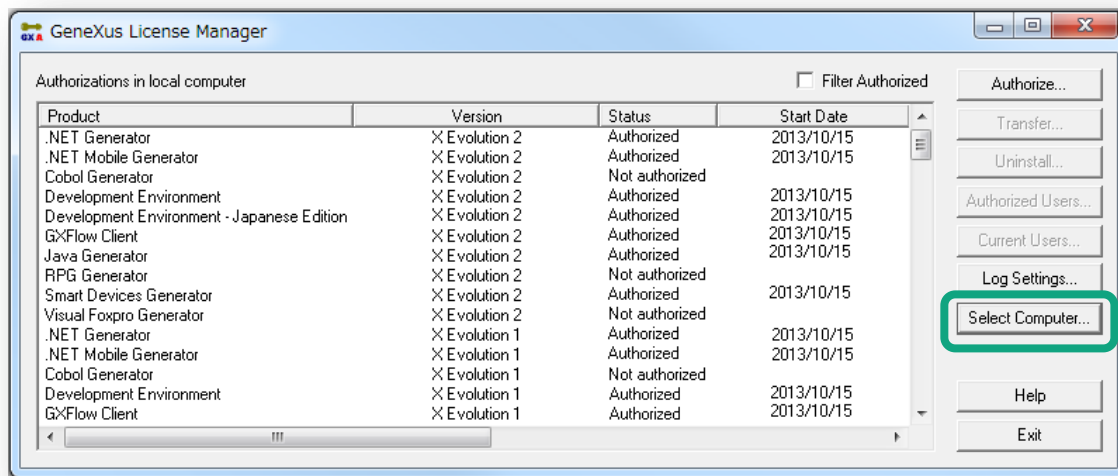
このセクションでは、Protection Server（ソースサーバー）またはライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）からネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）またはサーバー（ターゲットサーバー）にライセンスを移行する方法について説明します。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

重要：複数の製品のライセンスを移行する場合、製品ごとにトランスファーファイルを作成する必要があります。ただし、同一製品のライセンスであれば、1つのトランスファーファイルに複数格納することができます。

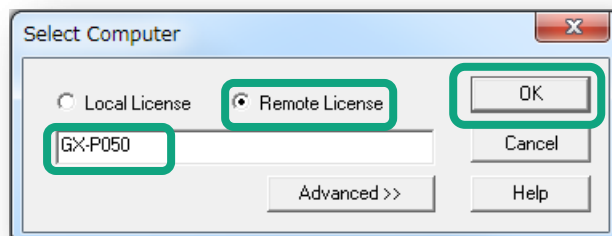
Protection Server からライセンスを移行する

1. ターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

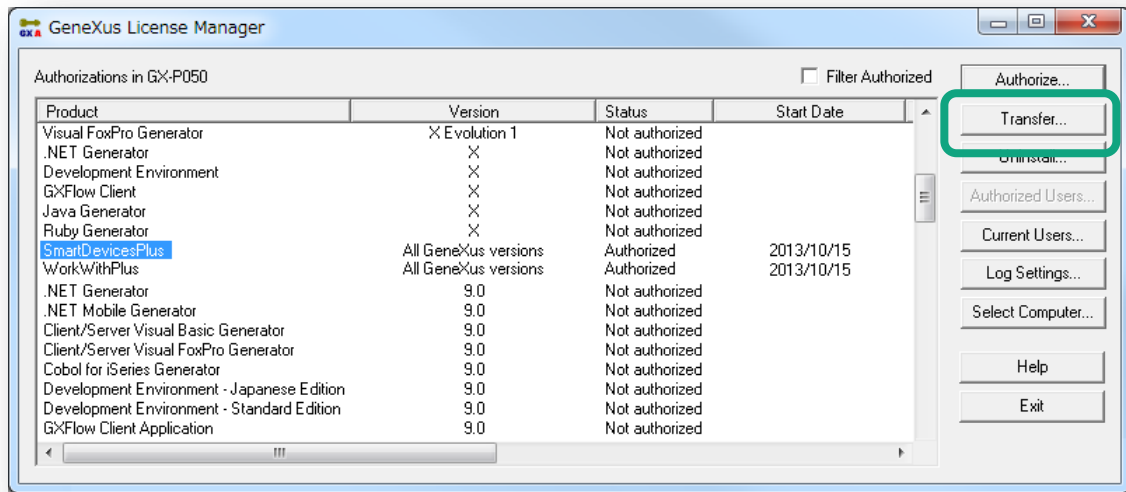


この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」ボタンをクリックします
3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、すぐ下の入力フィールドにソースサーバー（ライセンスの移行元）の IP アドレスまたは名前を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

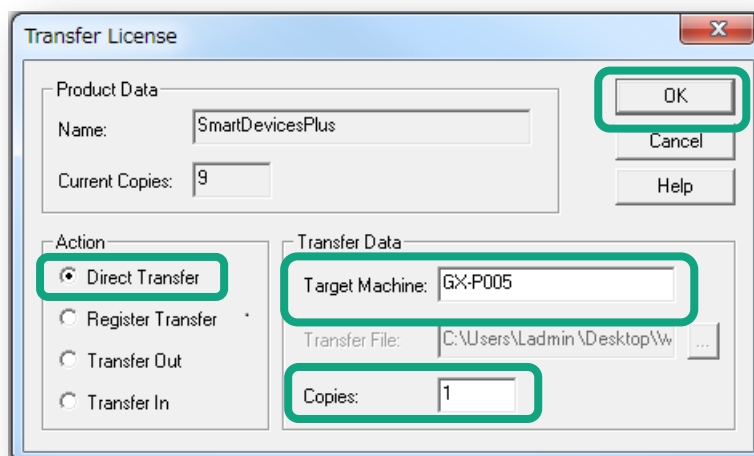


4. ソースサーバー（ライセンスの移行元）のライセンスが表示されたら、「SmartDevicesPlus」を選択し、「Transfer」をクリックします。



参考：上図では、ライセンスの移行元（この例では GX-P050 という名前のサーバー）のライセンスの状態が表示されています。また、画面左上には、「Authorization in GX-P050」と表示され、リモートでソースサーバーのライセンスを参照していることを示しています。

5. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。

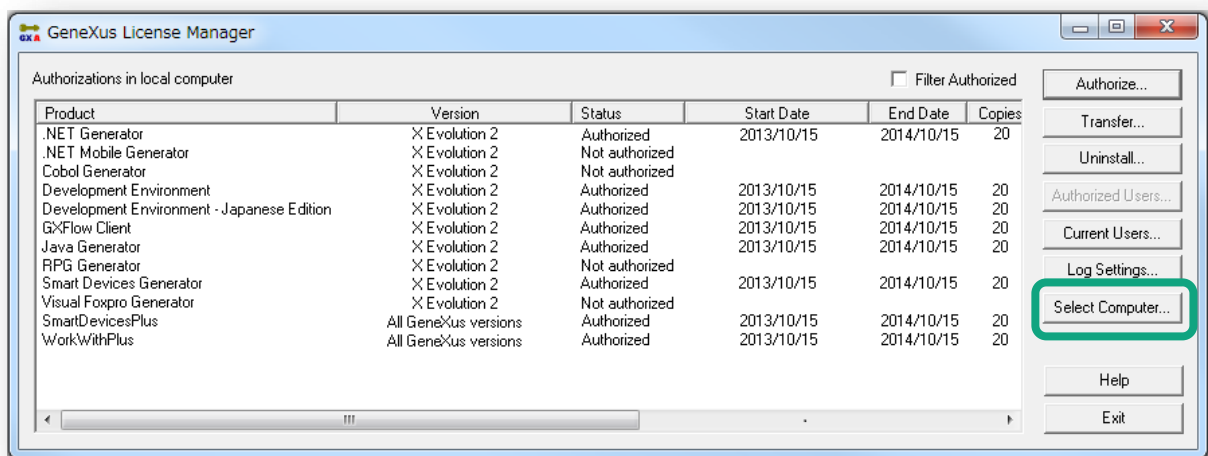


6. 「OK」をクリックします。これでライセンスの移行は完了です。

ライセンスがインストールされているマシンからライセンスを移行する

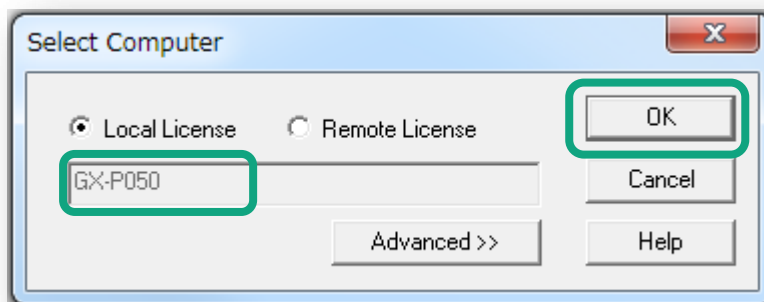
1. ソースマシン（ライセンスがインストールされているコンピューター）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

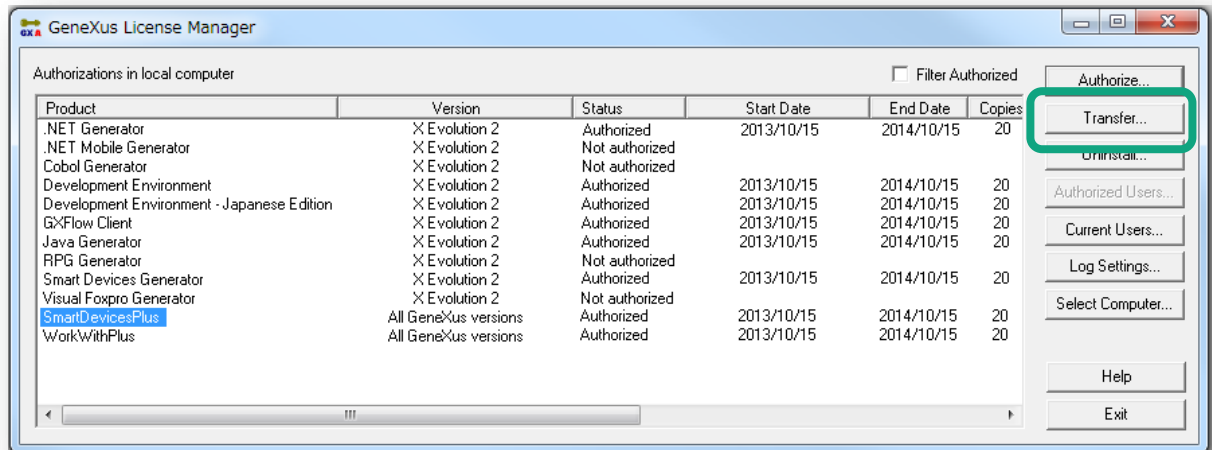
4. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



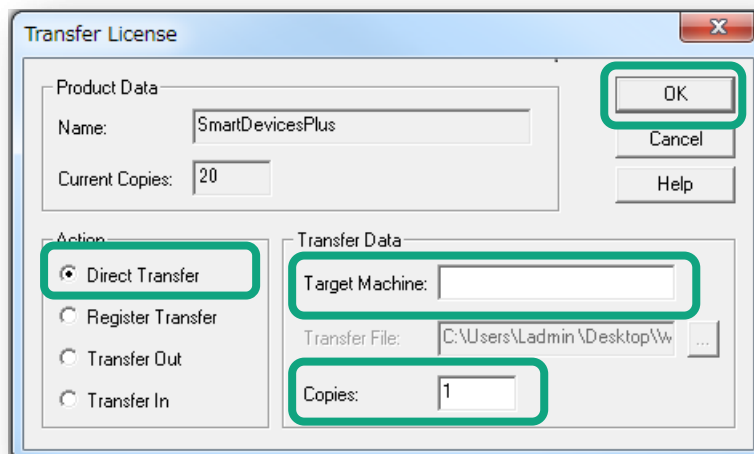
5. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「GeneXus License Manager」の起動画面に戻ります。

6. 「Product」から「SmartDevicesPlus」を選択し、「Transfer」をクリックします。



7. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



8. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。
これでライセンスの移行は完了です。

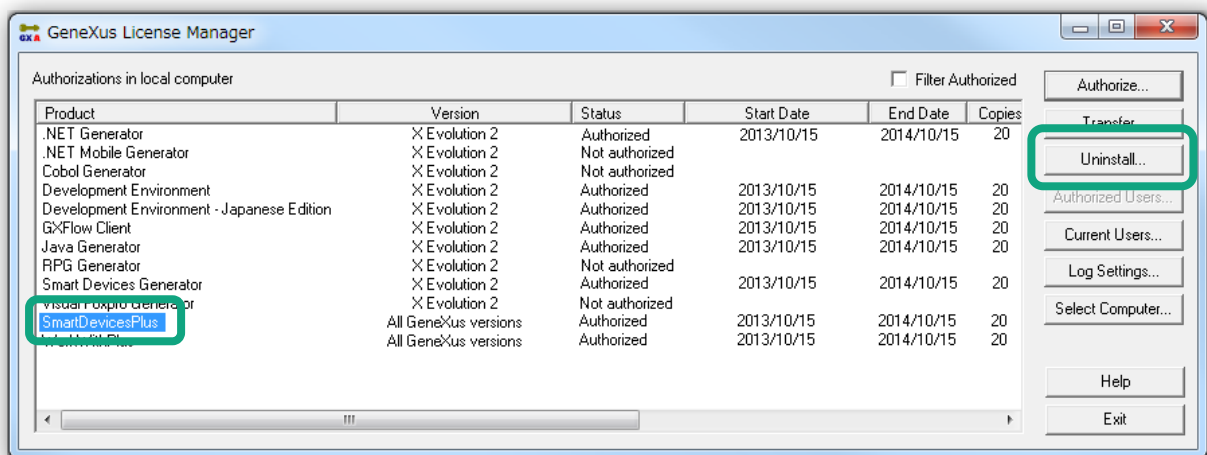
参考： 移行するライセンスがコンピューターにインストールされている場合、「Direct Transfer」オプションはそのコンピューター（ソースマシン）から実行する必要があります。移行するライセンスがサーバーにインストールされている場合には、ソースサーバーからでもターゲットサーバーからでも実行することができます。

ライセンスのアンインストール

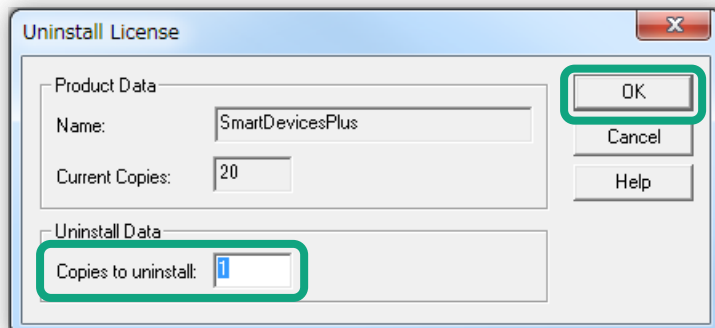
ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。
次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「**Copies to uninstall**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。これでライセンスのインストールは完了です。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで SmartDevicesPlus をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

エビデンスファイルを提出できる場合

GeneXus License Manager のステータスを確認する

SmartDevicesPlus が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

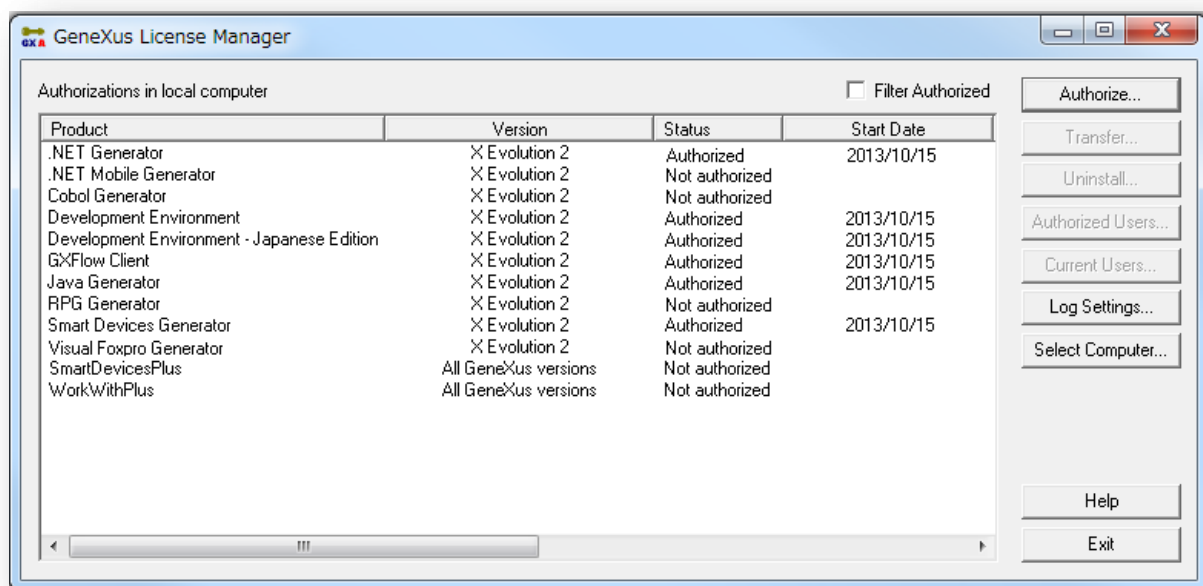
- GeneXus X Ev2 がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

重要： GeneXus および SmartDevicesPlus をインストールしているコンピューターでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus が使用できなくなる可能性があります。

エビデンスファイルを作成する

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。
このスクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. 「[新規ライセンス請求](#)」セクションの手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルをご購入の販売店または keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル



エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。ライセンス喪失により「緊急ライセンス」の貸与が必要な場合は、後述の「[緊急ライセンスの発行依頼](#)」参照してください。

アプリケーションのアンインストール

このセクションでは、アプリケーションのアンインストールについて説明します。

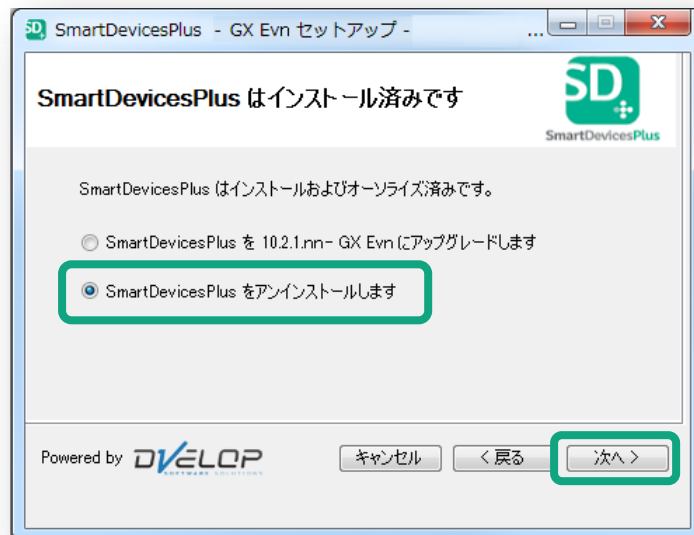
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の SmartDevicesPlus のアプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/sdp?ja>
2. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.zip」を解凍します。
3. 「SmartDevicesPlusSetup_v10.2.1.n_JP.exe」をダブルクリックして、インストーラ「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



4. 「参照」をクリックして、次のようにインストールされている場所を指定します:
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvn_JP」
5. 「次へ」をクリックします。



6. SmartDevicesPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。2 番目の SmartDevicesPlus をアンインストールするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



これで SmartDevicesPlus アプリケーションのアンインストールは完了です。

緊急ライセンスの発行依頼

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を用意しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。緊急ライセンスを取り込んだ後に、必ずライセンスの再発行を請求してください。ライセンスの再発行の方法については、前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

緊急ライセンスを利用するには

次のような手順を実行する必要があります：

1. 「緊急ライセンス」が必要な旨を弊社にメールまたは電話で連絡する
2. 必要に応じて以下のいずれかを実行する
 - SmartDevicesPlus ライセンスをアンインストールする（前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」を参照）
 - SmartDevicesPlus をインストールする（前述の「[アプリケーションのインストール](#)」を参照）
3. 緊急ライセンスをインストールするためのトランスファーファイルを作成する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
4. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを GeneXus Japan に送信する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
5. GeneXus Japan より返送されたトランスファーファイル（緊急ライセンス格納済み）をトランスファーファイルを作成したコンピューターに取り込む（後述の「[トランスファーファイルを取り込む](#)」を参照）

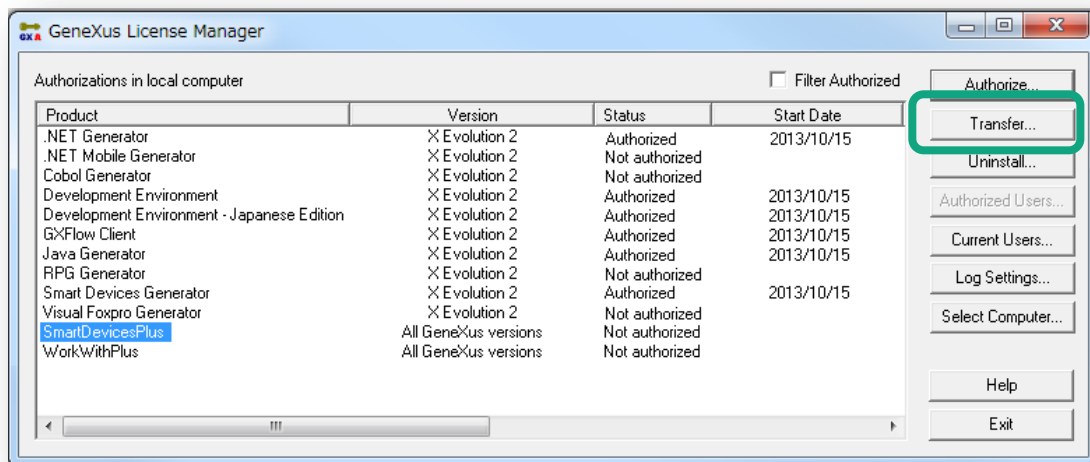
注意：取り込み完了日時を弊社までメールまたは電話でご連絡ください。

6. 緊急ライセンス取り込み完了後、緊急ライセンスが失効する前に緊急ライセンスをアンインストールしてから、正規のライセンス再発行を請求する（前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照）

緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する

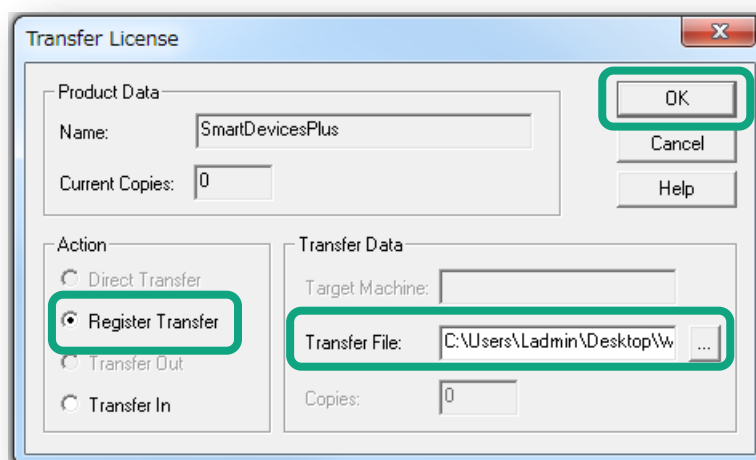
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. SmartDevicesPlus を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
「Transfer License」画面が表示されます。



3. 「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

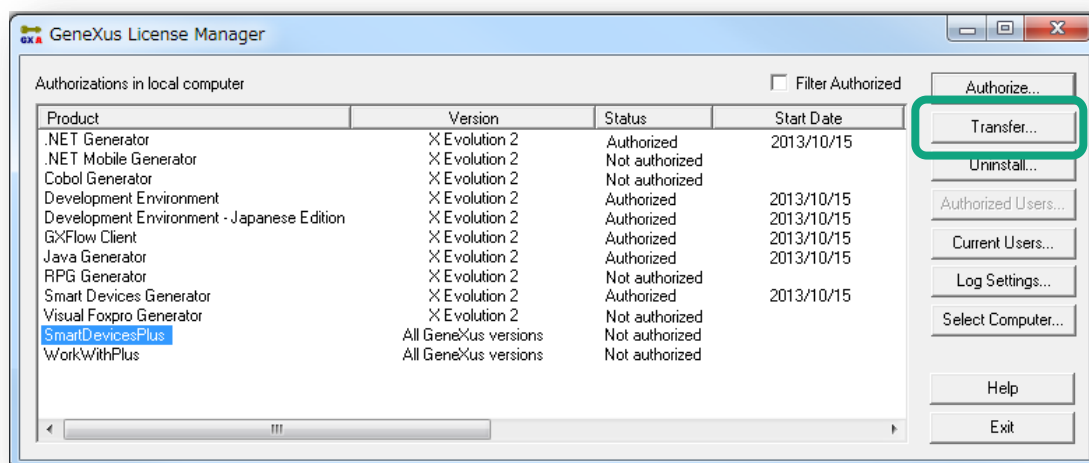
参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

4. 「OK」をクリックします。
5. 上記の手順で作成したトランスファーファイルをご購入の販売店または GeneXus Japan に送信します。
製品名(SmartDevicesPlus)とライセンス数を明記のうえ、トランスファーファイルをご購入の販売店または次のメールアドレスまで送信してください：keysmaster@genexus.jp

トランスファーファイルを取り込む

1. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを作成したコンピューターにご購入の販売店または GeneXus Japan から返送されたすべての.trf ファイルをコピーします。
2. 手順 1 のコンピューターの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

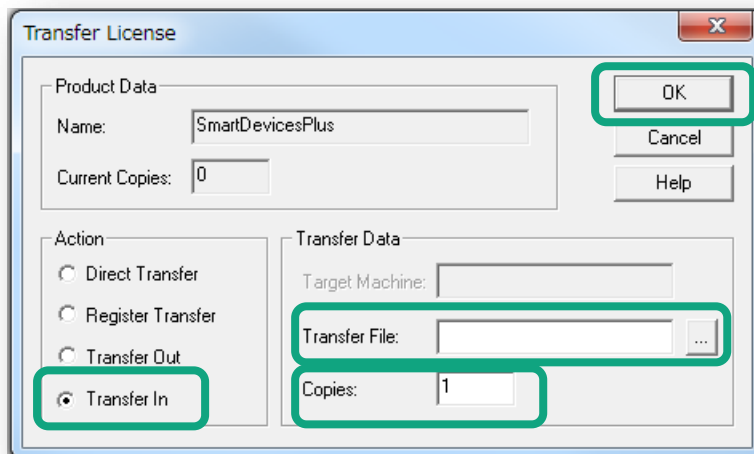
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

3. 緊急ライセンスを請求した製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。

「Transfer License」画面が表示されます。



4. 「**Action**」セクションの「**Transfer In**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 1 の.trf ファイルを選択します。
5. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも読み込む場合は手順 3～5 を繰り返します。
これで緊急ライセンスの取り込みは完了です。

ライセンスが再発行されたら、緊急ライセンスをアンインストールしてから、再発行されたライセンスを取り込む必要があります。詳しくは前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」および「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。